

在寮生
ご父母
入寮希望者 各位

(一財) 共立国際交流奨学財団
寮事業部 主任 高岡

相模大野学生会館・つつじヶ丘男子学生会館の 新型コロナウイルス感染症対策の指針

記

1 学生が海外から寮に戻ってきた際の対応

- ① 問診票を渡して、14日間検温、記録を取ってもらいます（寮長・寮母管理）。
- ② その間、食堂の利用を他の学生と時間差を設けて使用してもらいます。



14日間、熱、咳、倦怠感等がなく、異常がなければ、通常の寮生活に戻ります。

2 寮内で体調不良者が発生した場合

体調不良の目安

- ① 37.5℃以上の発熱が2日間以上続く
- ② 咳症状、倦怠感が続く

発生時の初動対応

- ① 本人に付近の病院で診察してもらいます。寮長・寮母の付き添いはありません。
- ② 濃厚接触を避けるため、通院後、本人から寮長・寮母に「電話」報告。
 - ・中国渡航歴 ・既往歴 ・その他体調不良の原因
- ③ 医者から自宅療養と言われた場合、寮内では自室待機。
 - 寮長・寮母の指示のもと、共用部の使用を制限します。
 - ・食堂は使用禁止。
 - 食事提供は、寮長・寮母が使い捨て容器に盛り付け、本人と接触せず、部屋前に置いて受け渡す。
 - ・つつじヶ丘男子学生会館は大浴場の浴槽使用禁止。
 - 他の寮生と時間差を設けてシャワーを使用してもらいます。
 - ・つつじヶ丘男子学生会館のトイレは個室専用化。
 - ・洗濯機は個人専用化。

他の寮生との接触を避けるため、使用時は貼り紙をしてもらいます。

- ④ 医師による自室待機解除後は、毎日朝と夕方の2回検温し、寮長・寮母へ報告。
体温計を持っていない場合は、寮長・寮母が貸出します。
- ⑤ 寮内ではマスク着用、手で触れた箇所はアルコール消毒をしてください。
アルコールをスプレーボトルに入れ、本人に携帯してもらいます。
- ⑥ 通院の際、発熱があると解熱剤等の薬が処方されます。
服薬終了後、発熱がなくなったときから、4日間検温を継続し、体温に異常がなければ、通常の生活に戻ります。

3

- ① 発熱が継続している場合、本人から「帰国者・接触者相談センター」へ連絡する。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokuyasessyokusya.html

- ② 診察してもらった病院の先生から「帰国者・接触者相談センター」へ連絡してもらう。